

放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2020年9月7日

事業所名：るーと

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	部屋のスペースは限られているが、その中で遊具の配置や入れ替え等を行い、活動のスペースを確保しています。	はい：15、どちらともいえない3 (回答率18/21) スペースは狭いが、活動には問題なく、また集中しやすい広さ 我が子は活動的なので、もう少し広さがあれば	スペースを広げることは難しいため、物の配置などを工夫し、より安全に楽しく活動できるスペースを確保していきます。
	2 職員の適切な配置	安全に療育ができる人員を配置しています。	はい：18(回答率18/21)	引き続き、安全に療育ができる体制をとっていきます。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	身体を動かす部屋と机上活動を行う部屋を分けています。また、ゲートを設けることで活動の区切りをつけやすくしています。	はい：17、どちらともいえない：1 (回答率18/21) 完全に部屋を区切ってしまっている方が気持ちの切り替えがしやすいと思う。	部屋に圧迫感が出やすいため、完全に部屋を区切らずに支援を行っています。気持ちの切り替えについてのご意見をいただいているため、関わり方やスケジュールの提示なども含めた方法によってスムーズに気持ちを切り替えられるように支援を行っていきます。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃や消毒作業の実施。また、ティッシュやアルコール綿はお子さんに届かないところで大人が取りやすい配置にしており、ケアしやすい状況を作っています。	はい：18(回答率18/21) 明るいイメージで良い。	引き続き、清潔な状態を保ちつつ、お子さんに合わせた環境づくりを心がけていきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	ミーティング等によって、効率的な方法をスタッフ間で相談しながら取り組んでいます。	/	勤務日の違うスタッフ間の意見交換が難しいため、連絡体制の強化やスタッフ研修の日を取ることも検討していきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施できていません。	/	必要に応じて実施を検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	月1回の研修を実施しています。		引き続き職員研修を実施しつつ、社外研修へ参加しやすい体制作りを行っていきます。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での放課後等デイサービス計画の作成	ご家族のニーズをお聞きし、お子さんの姿、学校での様子等を検討した上で、支援計画を作成しています。		引き続き、適切なアセスメントを行いながら支援計画を作成していきます。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた放課後等デイサービス計画の作成	個別療育のみの支援ではありますが、お子さんの姿や目標に合わせて、活動や関わり方をスタッフ間で共有しながら計画を作成しています。	はい:18(回答率18/21)	引き続き、スタッフ間での連携を深めながら、お子さんの姿に合わせた支援計画を作成していきます。
	3 放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	お子さんとご家族が望む生活の形に向けて必要な要素を検討しながら、支援方法を考えています。	はい:18(回答率18/21)	引き続き、お子さんとご家族のニーズを満たしていけるような支援計画を作成してまいります。
適切な支援の	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援目標やお子さんの姿をスタッフ間で共有しながら支援に取り組んでいます。	はい:18(回答率18/21)	引き続き、お子さんとご家族のニーズを満たしていけるように、スタッフ間での意思疎通を図りながら支援を行ってまいります。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	作業療法の視点を主としながら、活動の目的を考え、プログラムを立案し、スタッフで共有しています。		引き続き、目標に向かった活動プログラムを立案しながら、チームでの共通理解を徹底してまいります。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	個別療育のみになるため、時期等に応じた変化はありませんが、目標に向かっていける支援を実施しています。	はい:18(回答率18/21) 同じプログラムでも狙いや発展の視点で工夫していただいています。	引き続き、お子さんとご家族のニーズを満たしていけるような支援を実施してまいります。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	同じ目的でも活動を変えたり、段階づけを行うことで、楽しんで取り組んでもらえるような工夫を実施しています。		引き続き、楽しみながら活動に取り組める工夫を考えながら、支援を実施してまいります。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供 t (続 き)	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	その日のお子さんの状態や活動の狙いを共有するように心がけていますが、常に支援開始前に全てができていたわけではありません。その場合は、開始後も安全な支援を実施しながら情報共有を行っています。	ホワイトボード等も活用しながら、支援開始前に情報をしっかりと共有できるように意識していきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	お子さんの様子や関わり方など気づいた点について共有しています。	今後も具体的に確実に気づいた点について共有するように取り組んでいきます。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援については、お子さんの姿等の記録を残し、次回の支援時に参考にできるように取り組んでいます。	引き続き、支援につながる記録の徹底を行っています。
	11	定期的なモニタリングの実施及び放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングの実施及び支援計画の見直しを行っています。	引き続き、定期的なモニタリングと支援計画の見直しを徹底していく。また、必要に応じて、それ以外のタイミングでの見直しも行っていきます。
	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へ参画	お子さんの姿や支援の目標を把握している児童発達支援管理責任者が参加しています。	引き続き、情報共有も含めてお子さんの支援につながる連携ができるように参画していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	直接的な連携は取れていませんが、ご家族を通して情報収集を行い、支援を実施しています。	必要に応じて、関係機関と直接連携をとれるよう取り組んでいきます。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	発作や不調等の緊急時に連絡する病院や主治医については、保護者に緊急連絡先を記入していただき、すぐに連絡をとれるようにしています。	引き続き、緊急時等にすぐに連絡できるような体制を作っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有			
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	まだ学校を卒業される方がおられないため、実施していないが、当事業所での様子や取り組み等の書面を作成予定です。	まだ学校を卒業される方がおられないため、実施していないが、当事業所での様子や取り組み等の書面を作成予定です。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	市のこども発達支援センターとの連携は行っています。研修については、スタッフへ情報を周知し、希望がある場合は出張として参加できるようにしています。		引き続き連携を行いつつ、スタッフの支援の質を高められるように取り組んでいきます。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	お子さん同士の交流は実施できていません。	はい:2、どちらともいえない:1、いいえ:10 わからない4、未記入:1(回答率18/21) 個別療育なので。 個別指導のため交流する機会は時間的にも難しいのかなと思います。	今後、当事業所でのお子さんへの支援における必要性を考慮しつつ、あり方を検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民に向けた行事等は実施できていません。		地域のお子さんの居場所の一つとして認知される必要性を感じているため、今後の新型コロナウイルス等の情勢も考慮しながら、どのような形がいいか検討していきます。
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	大まかな支援の内容については、ご契約時にご説明しています。具体的なプログラムについては、療育終了後に保護者の方にご説明しています。利用者負担についても重要事項説明書を確認しながら説明しています。	はい:17、未記入:1(回答率18/21) 大変わかりやすく丁寧です。	引き続き、ご利用者様に伝わりやすい形のご説明を心がけていきます。
	2	放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画とその内容について、具体的な活動も提示しながらご説明しています。	はい:18(回答率18/21)	引き続き、ご利用者様に伝わりやすい形のご説明を心がけていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	毎回、療育後に支援の内容、お子さんの様子と共に、必要に応じて学校や家庭での取り組みについてお伝えしています。	はい:10、どちらともいえない:4、いいえ:2、わからない:2(回答率18/21) 家でもできることをアドバイスしてくれる。毎回療育後にお話をさせていただくのがペアトレの一環だと思っています。	「ペアレントトレーニング」として実施していますが、ご家族の対応力向上はお子さんの支援を行っていく上で大切な要素であると認識しています。そのため、より良い支援の質や方法を検討しつつ、支援内容が伝わりやすい方法を検討していきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	毎回、療育後に支援の内容、お子さんの様子をお伝えし、現状の課題や支援方法について共有しています。	はい:17、どちらともいえない:1(回答率18/21) 個別療育のため十分におこなっていただいていると思います。	全ての方に「はい」とお答えいただけていない事実を踏まえ、より丁寧に情報共有をできるように心がけていきます。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	毎回、療育後に支援の内容、お子さんの様子をお伝えし、現状の課題や支援方法について共有しています。また、家庭や学校での悩み等がある場合はその対応方法についてもお伝えしています。また、面談は定期的に実施しています。	はい:14、どちらともいえない:2、いいえ:1、わからない:1(回答率18/21) 指導後にお話できるので良い。マンツーマンなので1回ごとにアドバイス等いただけて嬉しい。参加できていません。	全ての方に「はい」とお答えいただけていない事実を踏まえ、子育ての悩み等にしっかりと耳を傾け、より丁寧にご相談をできるように心がけていきます。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	4月に学習会を予定をしていましたが、新型コロナウイルスの影響により延期しました。	はい:4、どちらともいえない:5、いいえ:4、わからない:3、未記入2(回答率18/21) 座談会や学習会を行い、保護者との交流の機会を作る案内があり、内容によっては参加したい。今後開催される予定かどうか聞いています。	新型コロナウイルスの影響も考慮しながらにはなりますが、10月頃に学習会の開催を予定しています。学習会等を定期的に開催し、保護者交流の機会としたいと考えています。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約時に苦情に対する対応体制と方法をお伝えし、利用者様に配布している通信で「ご意見箱」についてお伝えしています。	はい:12、わからない:6(回答率18/21) 苦情がないのでわかりません。	契約時や通信でお伝えはしていますが、周知ができていないため、掲示などをしながら、周知を徹底していきます。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	お子さんとのコミュニケーションには、カード、タブレット、スイッチ等も使用しています。保護者の方とは毎回の療育後の情報共有や通信、LINE等も活用しながらおこなっています。	はい:17、どちらともいえない:1(回答率18/21)	引き続き、意思疎通や情報伝達ができるように、通信、LINE、ホームページ等を活用しながら取り組んでいきます。お子さんとのコミュニケーション方法についてもより良い方法を常に模索しながら取り組んでいきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的に、通信を配布し、情報発信を行っています。	はい:17、どちらともいえない:1 (回答率18/21)	引き続き、通信を定期的に発行していきます。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報保護方針を定めて掲示し、必要事項については契約時に個人情報使用の同意書をいただいています。また、個人情報の含まれる書類については鍵付きの書棚に保管しています。	はい:17、未記入:1 (回答率18/21)	引き続き、個人情報の取り扱いに留意しつつ、事業所の運営を行っています。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	「安全管理マニュアル」として、それぞれへの対応マニュアルを作成しています。保護者の方へは「安全のしおり」を配布し、災害等の対応について周知しています。	はい:18(回答率18/21)	必要に応じてマニュアルのチェックと改訂を行いながら、周知徹底を進めていきます。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回の避難訓練、消火訓練、年に1回の通報訓練を実施しています。また、年に1回のAEDや心肺蘇生法の研修を実施しています。	はい:5、どちらともいえない:3、わからない:10(回答率18/21) 子どもが行っている時間に非常時の訓練をしたことがないです。	避難訓練の実施やAED等の研修について周知しきれてないため、通信などを使って周知を徹底し、安心してご利用いただけるように取り組んでいきます。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待を防止するためのマニュアルを作成し、スタッフ全員に虐待防止研修を実施しています。		マニュアルはチェックと改訂を行いながら、スタッフに周知していきます。研修についても定期的に行っていきます。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在、やむをえず身体拘束を行う状況にないため、計画書等への記載はしていません。また、身体拘束を行う場合の決定については、管理者と常勤保育士で協議の上決定し、マニュアルを作成しています。		マニュアルや身体拘束を行う基準についてはチェックと改訂を行いながら、スタッフに周知していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事やおやつを食べる機会がないため、対応していません。		食事やおやつを食べる機会がないため、対応していません。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例があった場合には、あらかじめ定めた書式に記載し、スタッフ全員で回覧し、それぞれが気づいたことを記入しています。		引き続き、ヒヤリハット事例集の作成と回覧による共有を徹底していきます。